



神奈川県PRキャラクター
かながわキンタロウ

社会福祉法人 小田原福祉会 特別養護老人ホーム潤生園

事業所概要

サービス種類: 介護老人福祉施設

管理者: 西山 八重子

所在地: 小田原市穴部377

従業員数: 74名

人材育成のための取組み

- 法人独自に人材育成センターを設置、複数の専門職を専任配置し、年数回の初任者研修事業の実施。現任者に対しては「教育訓練規定」「教育訓練要領」「教育訓練計画」を整備し全職員のキャリアパスを構築。
- 新入職員研修及びチューター制度の整備
全職員に対して入職時OFF-JTの入社時研修(3日間)を実施。OJTは専属の教育担当者(チューター)による業務習得を支援。
- 段階別教育訓練の実施
入職時、6か月、2年次、3年次(法人内他部署研修)、4年次(他法人研修)の研修実施。
- 事例研究発表大会の開催
毎年研究発表大会を実施。今年で7回目を迎えた。次年度は外部会場で一般に公開し市民の方にも聴講していただく予定。
- 実習生の積極的な受入れ
県内のみならず首都圏から介護福祉士、看護師、社会福祉士の実習生を積極的に受入れ。宿泊場所も提供し実習環境を整備。

サービスの質の向上のための取組み

- 「人は人として存在するだけで尊い」との理念に基づき、入所者の生命の尊厳性と人格を守り、QOLの高い生活を支え、天寿を全うしていただくことを使命とする。
- 介護に関して
 - ① 1982年から着手した「介護食」の研究開発により「最期まで口から食べる食介護」を実践。この研究成果により1991年日本栄養改善学会から「学会賞」受賞。
 - ② 1984年に県内初の重度認知症ケア棟を設置。認知症ケアが確立していない時代に、潤生園式評価スケールを開発し、ユニットケアの前身である「ファミリーケア」を実践。日本認知症ケア学会から「読売認知症ケア賞功労賞」を受賞。
 - ③ 1991年より医師を中心に看護・介護等の職員とご家族の参加も得たチームケアで、今日までに約500名の高齢者の看取りを実践。
- 業務に関して
 - ① 1990年代よりICTを活用、記録の質を高め根拠あるケアの提供。
 - ② 2015年ISO9001認証取得。品質マネジメントシステムに基づき、PDCAサイクル、業務フロー、手順、規定等のマニュアルを整備。内部監査による質の向上に向け、恒常的改善システムの整備。
 - ③ 職員間の情報共有・報連相の質を向上するため、コミュニケーションツールとして「インカム」を導入。

看取りデータ (1978~2015)



Vol.1

我が国で初めて嚥下食を開発・導入したバイオニア施設

社会福祉法人小田原福祉会
特別養護老人ホーム 潤生園



処遇改善におけた取組み

- ワークライフバランスを重視し、職住接近に配慮した職場配置。
- 産前産後休暇を取得しやすい職場風土の醸成、復職後の短時間正職員制度の整備、子育てしやすい部門への配置等、仕事と育児の両立支援。
- リフレッシュ休暇の取得を推奨、計画的に連続した休暇取得を実現。
- フロアごとの休憩スペース以外に、広い休憩スペースを設け、スタッフ間の横断的なコミュニケーションづくりを促進する場を整備。

選考会から一言

最期まで口から食べることを支援する介護食の開発、看取りケアの実践、地域貢献、職員教育訓練計画書に基づく人材養成等の取組み等、他施設の参考になると思います。